

訪日観光客の受入環境の充実について

【担当省庁】総務省、観光庁

国では、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催年に外国人観光客の受入目標数を2013年（平成25年）の倍となる2,000万人としており、京都としても、歴史や伝統、文化や産業等、豊かな観光資源を誇る京都を訪れる外国人観光客の増加に向け取組を進めている。

については、外国人観光客の受入環境を整備するため、国において以下の措置を講じていただきたい。

京都府・京都市共同提案

無料公衆無線LAN国内標準の構築

全国で、無料公衆無線LANが各地域でそれぞれ異なる規格で整備されているため、訪日観光客が移動する度にその地域でWi-Fiへの登録が必要となり、利用の障害となっている。

京都府では、全国に先駆けて、安全性に優れた共通認証前画面方式による「Japan.Free Wi-Fi KYOTO」の運用を開始したところであるが、訪日観光客が快適かつ安全に国内移動が行えるよう、国において、無料公衆無線LANを共通認証前画面方式に統一した上で、日本中どこでも簡単に再接続できる標準アプリケーションを導入していただきたい。

【現状・課題等】

京都府の無料Wi-Fiスポット整備 (H27 当初予算 2,000 千円)

全国に先駆けて共通認証前画面 (共通SSID) 方式による「Japan. Free Wi-Fi KYOTO」を平成 27 年 3 月から運用開始

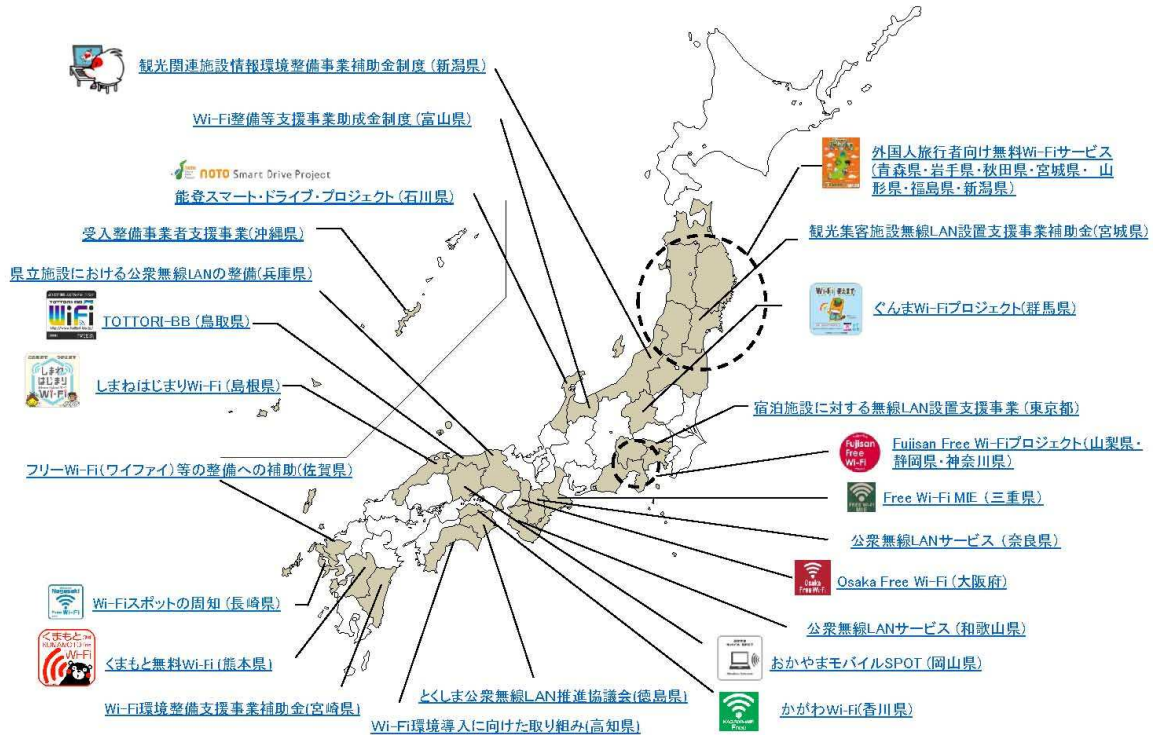


事業者に接続する前の画面で「Japan. Free Wi-Fi KYOTO」であることを表示 (安心して接続できる)

画面調整範囲
(共通SSID接続時)

全国で導入されている公衆無線LAN

都道府県における公衆無線LAN導入に向けた取組



- 公衆無線LAN環境の導入に向けた取組を行っている都道府県のうち、総務省で把握している都道府県を掲載している。(具体的には以下のとおり。)
- ・都道府県で費用の全部又は一部を負担し、都道府県独自の公衆無線LANを整備。
- ・都道府県で費用の全部又は一部を負担し、市区町村や民間事業者等と連携して公衆無線LANを整備。
- ・都道府県で費用を負担しないが、市区町村や民間事業者等と連携して公衆無線LANを整備。

【京都府の担当課】

商工労働観光部 海外経済課 075-414-4863
 広域観光戦略課 075-414-4879